



15周年記念 パネル展示

鴨沂高校のある場所—御所の東の120年—

鴨沂高校生による展示解説

1月13日(金) 13:40～

1月20日(金) 13:40～

各4回・15分程度

ぜひご来場ください！



令和5(2023)年1月6日(金)～1月22日(日) *延長の可能性あり

京都市歴史資料館 第2展示室(1F) 開館時間9:00～17:00 月曜休館

150 周年記念パネル展示

『鴨沂高校のある場所—御所の東の 120 年—』

1872(明治 5) 年創立の「新英学校」(及び女紅場)を前身とする鴨沂高校は、2022(令和 4) 年、記念すべき 150 周年を迎えました。

土手町通丸太町下ルに開かれた「新英学校」は、1874(明治 7) 年以降は女子生徒を集め、女紅場の流れもあわせて、日本における女性教育の先駆けとなりました。その後、1900(明治 33) 年には現在地の寺町通荒神口下ル(松蔭町)に移転、「京都府立第一高等女学校」(府一)として多くの卒業生を輩出しました。戦後はそのまま男女共学の新制高等学校に引き継がれ、そして現在、私たちが学んでいます。120 年を超えてずっと「この場所」に存在しているのです。

この展示では、江戸時代の「この場所」がどうなっていたのか、それを知る手がかりはあるのか…など、京都文化コースの授業の中で探究的に学んだ知識を、パネルにしてまとめました。また、興味



深いものが多い本校所蔵資料のうちから特に「絵葉書」に注目し、その歴史性を考えてみます。

京都府立鴨沂高等学校

京都市歴史資料館

京都市上京区寺町通荒神口下ル松蔭町 138-1

追記：1 月 29 日(日)まで京都府京都文化博物館で開催されている『京都府内の学校所在資料展 2』では、鴨沂高校所蔵の絵葉書資料と、それをデータベース化した取り組みなどが展示されています。こちらも合わせてご覧ください。